

1.8 演習

例題 7

要覧 1997 13 ページに掲載されている、「シャン文化圏に関する総合的研究」をお手本にして、同じような出力ファイルを作ってみましょう。

(出力例)

シャン文化圏に関する総合的研究 (新谷忠彦)

(所員 3 名、共同研究員 8 名)

本プロジェクトは以下の目的をもって共同研究を行い、必要に応じて研究会を開き、その成果を資料集・論文集として出版する。

1. 一つの複合文化交流圏（シャン文化圏）の解明のための方法論の検討。
2. シャン文化圏に関する情報収集と現地調査のための準備。
3. 現地調査の報告と成果の検討。
4. シャン系言語の学習と修得。
5. 文献資料及び非文献資料の解読・整理。
6. 基本的文献資料の解読出版。

なお、本プロジェクトと並行して、科研の海外調査「シャン文化圏における言語学的・文化人類学的調査」を行う。(1996 年度－1998 年度)

飯島明子 石井米雄 上田玲子 宇佐美洋 加藤昌彦
加藤久美子 小坂隆一 横山廣子